

# 若者の飲酒運転事例の分析 2012年度まとめ

特定非営利活動法人 A S K 飲酒運転対策特別委員会

Yahoo/Google のニュースに掲載された記事から、2012年4月1日～2013年3月31日に発生した飲酒運転事故・検挙で、運転者が10代～25歳である79件を抜き出し、傾向を分析した。データソースが、あくまでネットから採取できた記事に限られており、「マスコミが取り上げた事件」という偏りがあるものの、顕著な傾向が見られたので報告する。

## 年齢別件数

年齢	17	18	19	20	21	22	23	24	25	計
件数	1	4	6	12	6	13	15	12	10	79
同乗者あり	1	2	3	5	2	5	2	2	0	22
事故あり	1	4	4	10	5	11	11	9	8	63
死亡事故	0	1	0	5	1	5	1	1	1	15

※うち女性5人（21歳2人、24歳2人、25歳1人）

## 事故(検挙)発生時間

午後		午前	
昼	夜	未明	朝
12時～17時	17時～0時	0時～5時	5時～12時
2	14	39	21
16		60	

## I 若者の飲酒事故の特徴

### 1. 一緒に飲んでいて仲間が同乗しており、同乗者を巻き込んだ死傷事故につながっている

18	不明	電柱に衝突。同乗者1人が車外に投げ出され意識不明の重体。3人が打撲。事故後、別の少年が運転者と名乗り出たが身代わりが判明。
18	高校生	前を走っていた乗用車を追い越そうとして接触、転倒。同乗の10代男女4人が重軽傷。カラオケに向かう途中で、高校生は免許を取って半年。
20	調理見習い	道路わきの花壇に衝突。居酒屋からの帰宅途中で、同乗の10代の少年2人が骨折や打撲の負傷。0.4 mg/l。
20	大学生	車が雑木林に突っ込み、事故の衝撃で19歳の同乗者が放り出され死亡。運転者と他の同乗者5人は友人と車を放置して逃走。7時間後に出頭。6人は事故直前まで酒を飲んでいた。
20	不明	前走車を追い抜いた弾みで街路樹に衝突。同乗の21歳が死亡。アルコール検出。
21	会社員	道路脇の倉庫に衝突。車外に投げ出された重体の高校生を現場に残して逃走。5人乗りの車に7人が乗車。「飲酒運転していたので逃げた」
22	配管工	男女5人が載った車が電柱に衝突。17歳の同乗者が死亡。3人が軽傷。ドライブに行く途中だった。アルコール検出。
22	土木作業員	酒酔いで菓子店に突っ込んだ。無免許で、約5分前には約3キロ離れた市道で乗用車にバックで当て逃げ。22歳の同乗者が骨折。0.71 mg/l。「繁華街で焼酎を10杯ほど飲んだ」
22	不明	街路樹と衝突、助手席の21歳が死亡。運転者が鎖骨骨折の重傷。アルコール検出。
23	とび職	ガードレールに突き刺さり、同乗の20歳が死亡、運転手を除く18～20歳の男女3人が重傷。自宅で飲んだ後、車で遊びに行き、帰る途中。免許を未取得。「自宅と車内で缶酎ハイを4、5本飲んだ。ちょっとぐらいならいいだろうと思った」

よく見られるのが、一緒に飲んでいた仲間が同乗した状態で事故を起こすケース（バイクのケースもある）で、上の表のように、同乗者が死傷する例が非常に多い。

上記以外にも、22歳が起こした衝突事故で、相手側が少年7人が乗ったワゴン車（飲酒運転ではない）だったものがあり、運転者本人と少年3人が死亡している。

また、大きなケガには至らなかったが、飲み仲間らしい同乗者を伴う事故や検挙が他に9件ある。22歳を過ぎ年齢が上がるにつれてこのパターンはあまり見られなくなっていくので、若者の行動特徴として「仲間を乗せて運転する傾向が強い」と言ってもよいだろう。そのため、いったん事故が起きると大きくなる。

シートベルトをしていなかったのか、同乗者が車外に投げ出されるケースも3件あった。そのうち、放置して逃走したケースが2件だった。

また、同乗者を身代わりに立てようとした例が3件あった。

## 2. 多くが未明～朝にかけての時間帯に発生している

午後		午前	
昼	夜	未明	朝
12時～17時	17時～0時	0時～5時	5時～12時
2	14	39	21
16(20.3%)		60(75.9%)	

未明・朝が顕著に多い。直前まで飲んでいて例が多いように思われるが、記述がない記事が多いため、データがとれない。

## 3. ひき逃げ、身代わり、無免許など悪質なケースが目立つ

18	会社員	歩行者をはねて死亡させ <b>逃走</b> 。ナンバープレートはずして山中に車を乗り捨て。「酒を飲んでいたので逃げた」
19	不明	歩道に乗り上げ、歩行者に追突して <b>逃走</b> 。
19	アルバイト	交差点で追突事故を起こし <b>逃走</b> 。成人式に行く途中で、一緒に式に出席する予定の友人が同乗。
19	無職	運転がおかしかったためパトカーが <b>追跡</b> 。職質したが <b>逃走</b> 。基準値の2～3倍が検知。前夜から「さっきまで飲んでた」
19	自衛隊員	19歳と20歳2人の3人の隊員と一緒に飲酒し、同乗。コンビニの壁に衝突。20歳の隊員が <b>身代わり</b> で逮捕。のちに運転していたのは <b>無免許</b> の19歳であったことが判明。
20	漁師	女性を <b>ひき逃げ</b> し死亡させた。昨年、免許取消処分を受けており <b>無免許</b> 。「数人で酒を飲んだ後に事故を起こした。怖くなって逃げた」
20	大学生	車が雑木林に突っ込み、事故の衝撃で <b>19歳の同乗者が放り出され死亡</b> 。運転者と他の同乗者5人は <b>友人と車を放置して逃走</b> 。7時間後に出頭。6人は事故直前まで酒を飲んでた。
21	警察職員	飲食店で同僚と飲み、帰宅途中に大型トラックと接触し <b>逃走</b> 。翌日自首。生ビールをジョッキで2杯、日本酒を5合飲酒。「飲酒運転が発覚すればクビになるので逃げた」
21	女子大生	ミニバイクで信号無視、パトカーに <b>追跡され逃走</b> して、電柱に衝突。後ろに乗っていた女子大生とともに顔などに軽傷。2人は自宅で飲酒し、カラオケ店に行った帰り。
21	会社員	道路脇の倉庫に衝突。 <b>車外に投げ出された重体の高校生を現場に残して逃走</b> 。5人乗りの車に7人が乗車。「飲酒運転していたので逃げた」
21	アルバイト	交通整理の警備員をはねて死亡させ、 <b>逃走</b> 。「朝方まで友人と酒を飲んだ帰りだった」
22	大学生	車とぶつかり左手の中指と小指を切断、交差点に指を残したまま <b>立ち去り</b> 病院へ。酒のにおい。
22	土木作業員	酒酔いで菓子店に突っ込んだ。 <b>無免許</b> で、約5分前には約3キロ離れた市道で乗用車にバックで <b>当て逃げ</b> 。22歳の同乗者が骨折。0.71 mg/l。「繁華街で焼酎を10杯ほど飲んだ」

23	とび職	ガードレールに突き刺さり、同乗の 20 歳が死亡、運転手を除く 18～20 歳の男女 3 人が重傷。自宅で飲んだ後、車で遊びに行き、帰る途中。 <b>免許を未取得</b> 。「自宅と車内で缶酎ハイを4、5本飲んだ。ちょっとぐらいならいいだろうと思った」
23	大学生	交差点でタクシーや別の車に衝突、 <b>逃走</b> 。基準値の 4 倍のアルコール検出。「大学の友達らと酒を飲んだ」
23	トルコ人	信号無視でパトカーに <b>追跡されて逃走</b> 、交差点で衝突。はずみで自転車 2 台をはねた。4 人が重軽傷。アルコール検出。
23	会社員	盗んだトラックを運転中パトカーに気づいて <b>急加速して逃走</b> 、交差点で車に衝突。0.25 mg/l。
24	会社員	19 時から翌日にかけて知人と酒を飲み、帰宅後会社の営業車を運転して外出。 <b>検問の手前で Uターンして逃走</b> したためパトカーが追跡する途中、ガードレールに衝突。今年 4 月に免許取消で <b>無免許</b> 。
24	大工 イト人	高校生をはねて死亡させ、逃走。 <b>無免許</b> で飲酒運転。アルコール検出。
24	小学校講師	新聞配達人をはねて重傷を負わせ、 <b>逃走</b> 。7 時間後に自首。「バーで友人 2 人とビールを 3 杯飲んで運転した」「飲酒していたので怖くて逃げた」
24	無職	対向車に衝突、運転者に軽傷を負わせ、 <b>逃走</b> 。同乗していた 20 歳女性が <b>身代わり</b> で自首したが、虚偽が判明。
24	飲酒店店員	朝から若者が多数乗る車をパトロール中の署員が見つけた。 <b>後部座席の飲酒していない女性と入れ替わった</b> が署員が目撃。
24	パトカー人	停車中の車に追突。車を放置して <b>逃走</b> 。0.25 mg/l 以上。 <b>無免許</b> 。
24	自衛隊員	飲食店で飲んだ後、単独事故。0.55 mg/l。直前まで一緒に飲酒していた 4 人も同じ車を使って買い物に行っていたうえ、 <b>口裏を合わせて事実を隠す</b> 。
25	会社員	車に衝突し <b>逃走</b> 。
25	会社員	<b>ひき逃げ</b> 事件を捜査していた署員が検挙。
25	無職女性	渋滞で止まっていた車に追突。0.35 mg/l。10 分前にも <b>当て逃げ</b> 。「市内の店で午前 1 時半すぎから朝までビールを 5～7 杯飲んだ」
25	会社員	酒酔いで信号無視で出会い頭に衝突、死なせた。その <b>直前にも追突</b> していた。0.25 mg/l。
25	大工	<b>無免許</b> でバイクを運転、「ビールを飲んだ」
25	とび職	国道を約 1 キロ逆走し、正面衝突して軽傷を負わせた。 <b>徒歩で逃げた</b> 。「酒を飲んでいたので逃げた」
25	会社員	<b>無免許</b> で単独事故。アルコール検出。
25	海上自衛隊員	飲酒后、乗用車で帰宅途中に自損事故を起こしたが <b>警察に通報せず</b> 、事故を目撃した住民が通報。

ひき逃げ・当て逃げ、追跡されて逃走し事故、車外に放り出された仲間を見捨てて逃走、無免許など、悪質な事例が目立つ（マスコミ報道事例であるためかもしれない）。

一緒に飲んだ仲間を乗せて事故を起こして逃走し、身代わりを画策するというパターンは、2006 年 8 月 25 日に 22 歳の福岡市職員が起こした 3 児死亡事故にみられたものだ。あの事後は、若者による飲酒事故の典型例といってよい。

アルコールによる理性のマヒに、若さゆえの短慮が重なって、最悪の行動をとってしまうのか。被害をさらに広げてしまうため、対策が必要である。

## II 若者の飲酒事故防止のための対策

免許取得最少年齢は18歳であり、高校卒業後、大学や専門学校在学中に免許をとる人が多い。これは20歳の飲酒開始年齢（実際にはそれ以前に飲酒を開始する例が多い）とピッタリ重なる。つまり、運転も飲酒も初心者なのである。しかも、若者は仲間とつるむという行動的な特徴がある。

実際、上記の事例分析から、「若者は仲間と飲酒し、その仲間の車に同乗する傾向が強く、同乗者が死傷する事例が多い」ことが浮かび上がった。

10代～20代前半の若者にとって、仲間との連帯は大きな意味を持つ。仲間と盛り上がると、一人では絶対やらないことも行ってしまう。場のノリというピアプレッシャー（仲間の圧力）は抗しがたく、止めるのがむずかしい。

折しも、大学生の急性アルコール中毒死が社会問題になっており、これも仲間の中で起きている。

上記の特徴を踏まえ、さまざまな角度から、以下のような対策を進めることが急務である。

1. **警察**…若者の飲酒運転の特徴について、データ解析をし、効果的な対策のため関係機関に協力要請をする。
2. **自動車教習所**…普通免許学科教習の中で、若者たちの事故の特徴、飲酒運転につながる飲酒習慣など、アルコールの基礎知識を教える。若者の事故の特徴を示して注意喚起する。
3. **高校**…飲酒の誘惑や運転免許取得が目の前に迫った卒業年の3年に、アルコール教育を実施する。若者の事故の特徴を示して注意喚起する。
4. **大学・短大・専門学校など**…飲酒運転・急性アルコール中毒・アルコール依存症などについて、具体的かつ総合的なアルコール教育を行なう。若者の事故の特徴を示して注意喚起する。
5. **職場**…職員向けに飲酒運転防止の研修を行ない、アルコールの基礎知識を伝える。とくに、10代～20代前半の若者を採用する職場では、若者たちの事故の特徴を示し注意喚起する。
6. **若者の来店が多いカラオケ、コンビニ、居酒屋など**…車で来店した顧客の飲酒運転が起きないように、対策を講じる。